



会員数 29人

北九州プロバスケットボールクラブ月報

つながり

No. 202
令和5年4月号
2023. 4. 18

会長挨拶 “春です 皆さん！”

植田佐世子

コロナも少し緩和し、菜の花畑を見に人が訪れ、去年は車で通りすぎた花見にも足を運ぶことが出来ました。町に活気が湧いてきました…車も多くなりました。次、植物園は如何？

免疫力が強くない我々世代にとってもう何をしても OK とはいきませんが、切り抜けてきたご褒美に“わ～あきれい” “楽し～い” “これ大好き！”を見つけませんか。一見自分のためと思われるかもしれませんが、皆さんを感じる幸せの波動が周りの人も幸せにするからです。

3月の卓話 「落語」

ぎんなん落語会

政治、経済の話も悪くないのですが、今月はいつもと違って私たちの毎日に欠かせない”笑い”をたっぷり楽しむ落語会が企画されました。



出演の「ぎんなん落語会」は落語好きが集まって、聞く方もやる方も一緒に笑いましょうと結成されたボランティアの方々の方々の会です。落語講座や市内の市民センター等の公共施設やデイケアセンター等を中心に活動されていること。そのトップをきって艶家古良夜さんの「三枚起請」です。れんが色の和服に身を包み、元気のよいまくらから始まり、例会場の音響の良さや年報「Link」も褒めていただきました。古典落語の「三枚起請」は吉原の遊女の手練手管に翻弄される三者三様の男たちの話を流暢な話術で聞かせます。



続いては三味線漫談です。春らしい色合いの和服姿の空色亭ジャズミンさんの登場です。”博多夜船”の三味線の音色に乗って、しっとりと唄います。♪♪常盤橋から京町方面へ、今日一日の商い終えたであろう一人のカブト虫売り屋ともう一人が常盤橋の真ん中ですれ違ふと♪♪…、次々ドラマが生まれます。スルメ売り屋に蕎麦屋に隠れキリシタン、唐辛子売り屋、綿屋と続き、締めは小笠原藩の若侍が登場して「何枚だ～なんまいだ、お終いだ」シャンシャンという次第です。



終わりは顧見亭小客さん。山吹色の和服で登場。終わったばかりのWBC 日本対メキシコ戦の興奮をまくらにして、お題は「時うどん(関東では時そば)」です。内容をご存じの方も多いポピュラーな落語で、迫力あるうどんのすすりっぷりを披露され、会場の笑いを誘っていました。

落語は初めての会員もいたのでは!!と思いつつ、熱演の高座と会員の皆さんの笑い声に、充実した癒しのひと時であったのではないかと感じております。(内藤)

3月例会報告

開会の辞に続いて、3月19日に亡くなった竹原会員に対し、全員で黙とうを捧げた。中山会員指導のストレッチ体操で始まり、大石会員がお試し入会者の紹介、誕生会は対象7人中6名が出席、植田会長が記念品などを渡した。会食後、植田会長は最近のコロナ禍現象傾向に触れ「健康管理に気を付けて」と挨拶。この後は卓話、例会では珍しい「ぎんなん落語の会」による落語と三味線漫談で、男性2人と女性1人が熱演、会場の笑いを誘った。

役員改選が近いため、役員選考委員の選出方法や例会受付手順の説明があり、各委員会、同好会活動報告はいつも通り行われたが、ショートスピーチは時間短縮のため、見送った。最後に住吉会員がトルコ地震募金への協力を要請した。(安高)

☆例会委員会

4月4日 11名出席

湖月堂にて17時30分から開催した。会議に入る前に先日逝去された当委員でもあった竹原会員に1分間の黙祷を捧げた。

議題である今後の6月までの卓話の件の協議確認作業をして、8月の暑気払いについては日程や催物を協議検討。ショートスピーチの確認と例会受付手順について、再度協議確認をした。また、役員選考スケジュールについての説明を行い選出要領の周知を図った。(大石)

☆交流委員会

3月14日 12名出席

湖月堂にて17時30分から開催。昨年全委員に配ったアンケートを集計し、今後この結果を基に課題について検討する。

「旅行・慰安」について、5月31日「白野江植物公園と部埼の灯台バス旅行」を計画。詳細は次回委員会にて決定する。「他団体との交流」については、徳山プロバスクラブとの親睦を考えている。役員会との打ち合わせが必要で少しずつ進めていく予定。他にも興味深い提案あり。全員参加で活発な話し合いがなされているのが有難い。(近藤哲生)

☆広報委員会

4月7日 6名出席

12時30分からホテルテトラ北九州で開催。先ず4月例会での役員選考委員の選出について説明を行った。当委員会は投票該当者が2名のため、話し合いにより選考委員を決定した。

それから、昼食をとって「つながり5月号」の編集会議に入り、投稿メニューに添ってそれぞれの担当者を決定した。4月以降は同好会活動も活発になってきているが、記事として少し少ないと思われるので、トピックス記事等の情報提供や読みやすい紙面づくりなど話合っ、お開きとなった。

(内藤)



想 い 出

No.73 吉田信雄

昨年末に妻に先立たれ、先日四十九日の法要も終わりました。まだ、65年連れ添った妻を忘れることが難しく、生前に楽しんでくれたこと等を思い出しながら、心を落ち着かせています。

平成18年にオーストラリアへ長女の家族6人と旅行しました。短時間でしたが、シドニー上空を初めてヘリコプターでフライトした際、妻は大変喜んでくれました。平成26年には北欧4ヶ国を旅しました。デンマークでは人魚姫を、スウェーデンでは世界の功労者たちがいただくノーベル賞授賞式会場を見学。その他宮殿や古城と歴史ある数々の文化財も見学し、ともに楽しみました。翌年には、次女の長男が英国留学終了時に、ヨーロッパ4ヶ国を案内してくれました。その頃の妻は、旅の疲れも感じることもなく元気でした。

その後もアメリカやカナダへ出かけました。次は国内旅行を楽しむ予定にしていたのですが、しかし、今となってはその夢も儚く崩れてしまいました。

皆さん、人生は短いです。元気な時に思ったことをやりましょう。

竹原英作さんを偲んで

平成 19 年 4 月周望学舎でのご縁で、当クラブ第 3 代岩崎勝次会長の紹介で入会されました。それから丸 16 年となる今年の 3 月 19 日にご逝去、享年 92 歳でした。1 年程前から若干体調の不調を口にされるようになりましたが、昨年 12 月には役員会、例会、所属委員会にも出席、生来几帳面で礼儀正しい昭和初期の紳士という印象のお人柄は、プロバスクラブ会員としても誇れる存在でした。クラブ内では 2011 年から副会長、幹事長等の要職に、最後の期は監事をお引き受けいただき、年明けから体調が思わしくなく 2 月に役職交代されました。また全日本プロバス協議会の会計も担当され、実に最後までご活躍頂き心から感謝申し上げます。

それに多芸多才な方で、専門の法律はもとより文学的表現の流麗さ、趣味の旅行から写真撮影、更に音楽(声楽の美声もさることながら)の歴史、楽曲の解説等は例会講師に 2 度、今年 2 月号の「つながり」暖気流に投稿される等、玄人はだしの粋と幅広い楽しみを持たれた方と思っています。伴侶の先立ちということもありましたが、実によい人生を謳歌されました。最後になりましたが謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(古賀靖子)



風の会 🏠 足立山麓ウォーキング

3 月 19 日、私が「風の会」を任されてから純然たる山行は初めての企画でしたが、17 名が参加。距離が短いとはいえ山での集団行動ですので一抹の不安はありましたが、軽い体操の後、それぞれのペースで元気に歩く姿に、それは杞憂でした。途中野鳥との思いがけない触れ合い体験や森林浴の中の思い思いのおしゃべり、何といっても絶好のお天気に恵まれ楽しいウォーキングになりました。

無事下山(?)し、レストランでのイタリア料理に舌鼓の後解散となりました。皆様元気で何事も無く下山されたことは何よりでした。今後はハイキングも計画したいものです。お疲れさまでした。(近藤哲生)

📷 写友会 「早春の干潟」

中山正英会員



食美会 🍴

まだまだ寒暖の差が激しい 3 月 15 日 12 時 30 分から、小倉北区京町の「都につぼん」で開催し参加者は 9 人。店からの事前注文の要望で「刺身定食、にぎり定食、てんぷら定食、ステーキ定食」の中から、店長お薦めの「ステーキ定食」を全員が予約。予約した料理のイメージが頭に入り、初めての店で地図を頼りに尋ねたが、ステーキ屋らしき構えではなく和風の店であった。ところが、値段を大きく飛び越えた味付け、柔らかな肉質に皆さん大満足で、口の滑りもよく、次回開催で締めとなった。(古賀靖子)

🎤 カラオケ同好会

3 月 17 日 11 時から小倉北区浅野の「カラオケパティオ」で行いました。

今回は 7 名の参加で、藤山一郎の「長崎の鐘」、三橋美智也の「古城」、高峰三枝子の「湖畔の宿」など、昭和の懐かしい歌が飛び出して、有意義な時間が持てました。もっとたくさんの方の参加をお待ちしています。(安河内)

3月のお誕生 おめでとうございます!(敬称略)

- 近藤 哲生(2日)
- 神田 澄男(11日)
- 遠藤 信子(12日) 竹原氏葬儀出席
- 古賀えみ子(15日) 欠席
- 藤原 智子(16日)
- 安河内幸子(26日)
- 安高 洋一(31日)



「大庭照子が贈る年齢は宝ものコンサート～ボニージャックスと共に」

3月24日ウェルとばたで開催されたコンサートに行ってきました。このコンサートは北九州プロバスクラブが初めて後援(名義)したものです。

第一部は大庭照子さんの歌で始まり、懐かしいボニージャックスの方々の登場。リーダーの西脇さんが2年前に亡くなられ、3人で活動されています。2人は89歳とのことで、舞台上に登場された時はいかにも老人という感じでしたが、歌い始めると素晴らしい歌声、ハーモニーで観客を魅了しました。その後『童謡を歌う会』等の活動を通してかねてより親交があった松本忠会員が舞台上に呼ばれてインタビューを受け、拍手を浴びていました。

第二部は童謡特集です。手拍子をたたき、会場も一体となって歌いました。心温まる楽しいコンサートでした。

(住吉)

ありがとうBOX メッセージ 3月分 (五十音順、敬称略)

- ★ご冥福をお祈りいたします。お世話になりました。(伊熊) ★(植田) ★感謝です。(遠藤) ★春ですね。動きましょう。(大石) ★桜はふくらみ、我が身も、活気づく。(大川) ★なんとか元気になりました。85歳になりました。(神田) ★クラブの中心的存在のご逝去を心よりお悔やみ申し上げます。(古賀靖子)
- ★竹原さん、お世話になりました。感謝です。(近藤哲生) ★いつも御指導下さった竹原さん、有難うございました。(近藤弘子) ★アクシデントに会いましたが大事にならずにすみました。(柴村) ★桜の開花宣言があり、今から春本番うれしいですね。(新城) ★知性と教養に溢れ、毅然とした態度で導いてくださった竹原さん、ありがとうございました。(住吉) ★健康第一(中山) ★感謝(橋本) ★大分耳が悪くなり残念です(洞) ★感謝(松永) ★(松本) ★(眞鍋) ★(安高) ★楽しい落語をありがとうございました。(山下静江) ★春分の日だ。桜も咲き春がきた(吉田信雄) ★トルコ地震とありがとうと一緒にお願いします(吉田秀子)

収支報告	2月末残高	112,312円
	3月分収入(例会)	10,450円
	パソコン・プリンター売却益	15,000円
	3月末残高	137,762円

